

中期経営指針「Vision3.1」への移行に伴い、 経営理念体系「PMVV」を一部刷新

～パーパスに『人とインフラの可能性を追求し、幸福な「社会と未来」を創造する』を掲げる～

株式会社旭テクノロジー（本社：兵庫県姫路市、代表取締役：幸長 保之、以下「当社」）は、2026年10月1日からの第44期の開始および中期経営指針「Vision3.1」への移行に伴い、経営理念体系「PMVV（パーパス・ミッション・ビジョン・バリュー）」の一部を刷新したことをお知らせします。

本PMVVは、当社およびグループ会社である株式会社旭パワーマネジメント、株式会社旭サステナブルの3社で構成される「チーム・ASAHI」共通の経営理念体系です。



■PMVV 一部刷新の背景

チーム・ASAHIは、プラント事業を基盤として、再生可能エネルギー事業、ドローン事業、不動産事業、ストック事業へと事業領域を拡大してきました。

事業の多様化と組織の成長が進むなか、各事業が専門性を高めながらも、グループ全体として共通の目的と価値観を持ち、持続的に成長していくことが重要になっています。

こうした背景を踏まえ、中期経営指針を「Vision3.0」から「Vision3.1」へと刷新するとともに、チーム・ASAHIの存在意義と使命を改めて見つめ直し、Purpose（パーパス）およびMission（ミッション）の表現を刷新しました。

■新しいPMVV

【Purpose（パーパス）：なぜ「チーム・ASAHI」が存在するのか】※刷新

人とインフラの可能性を追求し、幸福な「社会と未来」を創造する
～「チーム・ASAHI」は事業活動を通じ、社会に価値を提供し続ける企業を目指します～

【Mission（ミッション）：Purposeをどう実現するのか】※刷新

人と技術を育み、挑戦を通じて社会課題を解決し、新たな価値を創造し続ける

【Vision(ビジョン):「チーム・ASAHI」でVision3.1でどこを目指すのか】

持続的成長の先に100年続く会社を創る

【Value(バリュー):「チーム・ASAHI」として大切にしている価値観】

ASAHI Ism(成長を促す10の行動規範)

個と組織の成長促進のため、以下の通りASAHI Ismを制定しています。

<プロ意識>

- ①結果にコミットせよ
- ②慢心せず、常に自分自身の可能性を広げる努力を怠るな
- ③過去に囚われず、未来を恐れず、大胆かつ真摯に挑戦せよ

<視座向上>

- ④大局を捉え、物事の本質を見極めよ
- ⑤常識とは絶えず変化する相対的な通念に過ぎない。故に染まりきる必要はない。時には疑え
- ⑥真の全体最適とはWin-Winの上に成立する。故に個を犠牲にすることなく、全体にとってベストな状態を意識せよ

<協創意識>

- ⑦摩擦・失敗を恐れるな。周囲を巻き込み大業を成せ
- ⑧英知を結集し、シナジーを創出せよ
- ⑨人格者であれ
- ⑩「チーム・ASAHI」の意識を忘れるな

■代表者コメント:株式会社旭テクノロジー 代表取締役 幸長 保之

第44期のスタートにあたり、『なぜ「チーム・ASAHI」は存在するのか』『「チーム・ASAHI」でどこを目指すのか』を改めて見つめ直し、パーパスとミッションの表現を刷新しました。

私たちが向き合っているのは、社会を支えるインフラと、それを支える人です。人とインフラの可能性を追求し続けることが、幸福な社会と未来につながると考えています。

また、ビジョンに掲げる「100年続く会社」とは、単に企業として存続することではなく、働く人が誇りを持ち、社会から必要とされ続ける企業であることだと考えています。その実現には、一人ひとりの挑戦と成長、そして事業や組織の垣根を越えた連携が欠かせません。

新たなPMVVをグループ共通の指針として、そしてASAHI Ismを日々の行動の拠りどころに、チーム・ASAHI一丸となって今後も各事業の成長と連携を推進し、社会に新たな価値を提供し続ける企業グループを目指してまいります。

■会社概要

会社名 : 株式会社旭テクノロジー

所在地 : 〒671-2224 兵庫県姫路市青山西4丁目4-1

代表者 : 代表取締役 幸長保之

設立 : 1984年9月18日

事業内容: 発電所・プラントのメンテナンス、太陽光発電設備のEPC・O&M、蓄電設備運用、
ドローンを活用したサービス開発、ドローンスクール運営等

会社HP: <https://atcl.co.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社旭テクノロジー 社長室: 小西

TEL: 070-7494-1298 E-MAIL: y.konishi@atcl.co.jp

TEAM ASAHI